



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月31日

上場会社名 三谷産業株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 8285 URL <https://www.mitani.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三谷 忠照

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務担当 (氏名) 内田 大剛 TEL 03-3514-6003

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	25,651	13.5	400	-	780	151.7	599	101.6
2025年3月期第1四半期	22,599	6.1	3	△69.0	310	30.8	297	△2.8

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 2,905百万円 (-%) 2025年3月期第1四半期 27百万円 (△98.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	9.73	-
2025年3月期第1四半期	4.83	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	96,362	50,138	51.8	811.18
2025年3月期	93,496	47,572	50.7	769.51

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 49,944百万円 2025年3月期 47,379百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	4.50	-	5.50	10.00
2026年3月期	-	-	-	-	-
2026年3月期(予想)	-	4.50	-	5.50	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	6.7	2,250	8.5	2,950	11.0	2,450	0.4	39.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	61,772,500株	2025年3月期	61,772,500株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	202,065株	2025年3月期	202,085株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	61,570,430株	2025年3月期1Q	61,570,348株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	11
3. 補足情報 .....	12
(1) 受注および販売の状況 .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の売上高は256億51百万円（前年同期比30億51百万円増 13.5%増）、営業利益は4億円（前年同期比3億97百万円増 前年同期の営業利益は3百万円）、経常利益は7億80百万円（前年同期比4億70百万円増 151.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億99百万円（前年同期比3億1百万円増 101.6%増）となりました。

なお、売上高および全ての段階利益において、2008年6月期の四半期連結決算開示以来、第1四半期連結累計期間としては過去最高となりました。また、売上高については5期連続で過去最高を更新しました。

売上高が前年同期比30億51百万円増加した要因は、以下のとおりエネルギー関連事業および樹脂・エレクトロニクス関連事業を除く4つの事業セグメントの増加によるものであります。

・化学品関連事業	+12億78百万円
・空調設備工事関連事業	+10億50百万円
・情報システム関連事業	+4億82百万円
・住宅設備機器関連事業	+3億52百万円
・エネルギー関連事業	△0百万円
・樹脂・エレクトロニクス関連事業	△1億21百万円

営業利益が前年同期比3億97百万円増加した要因は、以下のとおり住宅設備機器関連事業および化学品関連事業を除く4つの事業セグメントの増加によるものであります。

・空調設備工事関連事業	+2億73百万円
・情報システム関連事業	+1億44百万円
・エネルギー関連事業	+68百万円
・樹脂・エレクトロニクス関連事業	+53百万円
・住宅設備機器関連事業	△19百万円
・化学品関連事業	△70百万円

経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の増加を主要因に増加しました。

<セグメントの状況>

当第1四半期連結累計期間における営業利益の大きいセグメント順に記載します。

〔空調設備工事関連事業〕

受注高は、首都圏および北陸地区において過去最大規模の新築工事案件を受注できたことから、前年同期比238.2%増の99億57百万円となりました。

売上高は、首都圏および北陸地区において大型のリニューアル工事が順調に進捗したことから、前年同期比27.0%増の49億42百万円となりました。営業利益は、売上高の増加に加えて、新築工事およびリニューアル工事において案件の高付加価値化に努めてきたことから、前年同期比103.1%増の5億37百万円となりました。

なお、売上高および営業利益については2008年6月期のセグメント別業績開示以来、過去最高となりました。また、売上高については2期連続で過去最高を更新しました。

〔樹脂・エレクトロニクス関連事業〕

売上高は、車載向け樹脂成形品の需要が回復したものの、前年同期と比較して為替が円高へ推移した影響により外貨建て取引における円貨への換算額が減少したことから、前年同期比4.2%減の27億76百万円となりました。一方で、継続して実施してきた原価低減活動が奏功し、営業利益は前年同期比23.5%増の2億83百万円となりました。

なお、営業利益については2008年6月期のセグメント別業績開示以来、過去最高となりました。

〔情報システム関連事業〕

受注高は、石川・富山両県の全34自治体のうち26自治体から、NEXTGIGAスクール<sup>※</sup>関連案件を受注できたことに加えて、首都圏において大型の基幹システム更新案件を受注できたことから、前年同期比194.2%増の81億78百万円となりました。

売上高は、北陸地区において文教関連顧客への納入が順調であったことに加えて、首都圏において複数の基幹システム更新案件が順調に進捗したことから、前年同期比23.8%増の25億12百万円となり、営業利益は前年同期比108.1%増の2億77百万円となりました。

なお、売上高および営業利益については2008年6月期のセグメント別業績開示以来、過去最高となりました。また、売上高は6期連続、営業利益は2期連続で過去最高を更新しました。

※ 文部科学省が推進する教育現場におけるICT活用を推進する「GIGAスクール」の第2フェーズのことで、教育現場におけるさらなるICTの活用や、更新時期を迎えた端末の整備が求められています。

〔エネルギー関連事業〕

石油製品については、販売価格は、堅調に推移しました。販売数量は、一部顧客の需要が減少したことから、前年同期を下回りました。

民生用LPガスについては、販売価格は、前年同期並みに推移しました。販売数量は、業務用で一部顧客の稼働が減少したものの、戸建て・集合住宅などで需要が増加したことから、前年同期並みに推移しました。

以上により、全体の売上高は、前年同期並みの17億16百万円となりました。一方で、営業利益は、前年同期に新規顧客の獲得に係る一時的な支出があったことから、前年同期比280.6%増の92百万円となりました。

〔化学品関連事業〕

国内における化成品販売については、顧客の稼働が全般的に増加したことから、売上高は増加しました。

医薬品原薬については、新規顧客への販売が増加したことから、売上高は増加しました。

機能性素材の受託製造については、顧客の稼働が増加したことから、売上高は増加しました。

環境ビジネスについては、有価金属回収事業において取扱量が増加したことから、売上高は増加しました。

ベトナムにおける化成品販売については、顧客の稼働が減少したことに加え、前年同期と比較して為替が円高へ推移した影響により外貨建て取引における円貨への換算額が減少したことから、売上高は減少しました。

以上により、全体の売上高は、前年同期比14.3%増の102億15百万円となりました。一方で、当社子会社の㈱ミライ化成において、本年5月に開所した「青森Lab」関連の費用が発生したことにより、営業利益は前年同期比74.5%減の24百万円となりました。

## 〔住宅設備機器関連事業〕

受注高は、オリジナルブランド『INTENZA<sup>®</sup>』のシステムキッチンが都内高級マンションを中心に複数の物件で採用されたことから、前年同期比23.4%増の34億72百万円となりました。

売上高は、首都圏において大型の機器販売案件の進捗があったことから、前年同期比11.8%増の33億33百万円となりました。一方で、高級バスタブのオリジナルブランド『JAXSON』の大型物件への納品時期延伸による工場稼働率の低下により、営業損失は2億51百万円となりました（前年同期の営業損失は2億32百万円）。

なお、モジュラーファニチャーブランドの『Tesera<sup>®</sup>』は、初の海外展開として台湾での販売を開始しました。7月上旬には、台湾の建築・インテリア・ライフスタイルの総合展示会である「好感空間展2025」に参画し、ヨーロッパを主要な販売市場に50年以上にわたりアルミ製家具を提供している芳徳鑄鋁股份有限公司（Founder Aluminium Co., Ltd）と共同でTeseraブースを出展しました。

今後も、引き続きオリジナルブランド製品のより一層の認知度向上および拡販に努めてまいります。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産残高は、963億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億66百万円増加しました。

主な要因は、受取手形及び売掛金11億80百万円の減少、完成工事未収入金18億22百万円の減少、商品及び製品15億87百万円の増加、投資有価証券37億7百万円の増加であります。

負債残高は、462億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億円増加しました。

主な要因は、支払手形及び買掛金11億46百万円の増加、工事未払金2億5百万円の減少、短期借入金4億23百万円の減少、未払法人税等5億31百万円の減少、長期借入金2億97百万円の減少、固定負債のその他に含まれる繰延税金負債11億67百万円の増加であります。

純資産残高は、501億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億66百万円増加しました。

これらの結果、連結ベースの自己資本比率は、前連結会計年度末の50.7%から51.8%となりました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,445	8,454
受取手形及び売掛金	18,162	16,982
電子記録債権	3,596	4,047
完成工事未収入金	8,263	6,441
商品及び製品	2,365	3,952
仕掛品	566	548
未成工事支出金	93	113
原材料及び貯蔵品	1,565	1,649
その他	3,044	2,940
貸倒引当金	△42	△38
流動資産合計	46,060	45,090
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,809	9,600
土地	4,058	4,058
その他（純額）	2,597	2,856
有形固定資産合計	16,465	16,514
無形固定資産		
ソフトウェア	667	758
その他	318	300
無形固定資産合計	985	1,059
投資その他の資産		
投資有価証券	27,440	31,148
その他	2,593	2,599
貸倒引当金	△50	△50
投資その他の資産合計	29,984	33,698
固定資産合計	47,436	51,272
資産合計	93,496	96,362

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,146	12,292
電子記録債務	1,772	1,872
工事未払金	2,342	2,137
短期借入金	14,085	13,661
未払法人税等	766	235
役員賞与引当金	222	32
受注損失引当金	4	11
完成工事補償引当金	15	17
製品保証引当金	284	284
株主優待引当金	73	72
その他	6,073	5,525
流動負債合計	36,786	36,141
固定負債		
長期借入金	2,464	2,166
役員退職慰労引当金	591	482
退職給付に係る負債	380	378
資産除去債務	279	280
その他	5,421	6,774
固定負債合計	9,137	10,082
負債合計	45,924	46,224
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	3,390	3,390
利益剰余金	28,160	28,421
自己株式	△42	△42
株主資本合計	36,316	36,577
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,508	13,080
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	508	244
退職給付に係る調整累計額	44	41
その他の包括利益累計額合計	11,062	13,367
非支配株主持分	192	193
純資産合計	47,572	50,138
負債純資産合計	93,496	96,362



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	22,599	25,651
売上原価	18,327	20,733
売上総利益	4,272	4,917
販売費及び一般管理費	4,269	4,517
営業利益	3	400
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	240	265
持分法による投資利益	43	60
賃貸料	39	39
為替差益	17	42
その他	46	69
営業外収益合計	389	480
営業外費用		
支払利息	40	49
賃貸設備費	28	29
その他	12	21
営業外費用合計	82	100
経常利益	310	780
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	231	61
特別利益合計	231	61
特別損失		
固定資産除却損	2	3
投資有価証券評価損	5	1
特別損失合計	7	5
税金等調整前四半期純利益	533	836
法人税等	231	233
四半期純利益	302	602
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	297	599

## （四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益	302	602
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△503	2,554
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	224	△266
持分法適用会社に対する持分相当額	3	14
その他の包括利益合計	△275	2,302
四半期包括利益	27	2,905
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	21	2,904
非支配株主に係る四半期包括利益	5	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	空調設備工 事関連事業	樹脂・エレ クトロニク ス関連事業	情報システ ム関連事業	エネルギー 関連事業	化学品関連 事業	住宅設備機 器関連事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	3,881	2,898	1,926	1,650	8,935	2,949	22,242	357	22,599
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	—	103	66	0	31	213	255	468
計	3,892	2,898	2,030	1,717	8,936	2,980	22,455	612	23,068
セグメント利益又は損 失(△)	264	229	133	24	95	△232	514	40	555

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にコンピュータ・事務機器等のサプライ品の販売およびオフィスビル等の保安全管理事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	514
「その他」の区分の利益	40
セグメント間取引消去	28
全社費用(注)	△581
四半期連結損益計算書の営業利益	3

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	空調設備工 事関連事業	樹脂・エレ クトロニク ス関連事業	情報システ ム関連事業	エネルギー 関連事業	化学品関連 事業	住宅設備機 器関連事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	4,886	2,776	2,430	1,564	10,213	3,241	25,111	539	25,651
セグメント間の内部 売上高又は振替高	56	0	82	152	1	92	386	274	660
計	4,942	2,776	2,512	1,716	10,215	3,333	25,498	813	26,312
セグメント利益又は損 失（△）	537	283	277	92	24	△251	964	43	1,007

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にコンピュータ・事務機器等のサプライ品の販売およびオフィスビル等の保全管理事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	964
「その他」の区分の利益	43
セグメント間取引消去	19
全社費用（注）	△627
四半期連結損益計算書の営業利益	400

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	504百万円	491百万円

3. 補足情報

(1) 受注および販売の状況

①受注実績

(単位：百万円)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		当第1四半期連結会計期間末 (2025年6月30日)	
	受注高	前年同期比(%)	受注残高	前年同期比(%)
空調設備工事関連事業	9,957	338.2	23,052	128.4
情報システム関連事業	8,178	294.2	16,135	168.4
住宅設備機器関連事業	3,472	123.4	15,710	109.9

(注) 受注実績の金額には、セグメント間の内部受注高および受注残高を含めて記載しております。

②販売実績

(単位：百万円)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	
	売上高	前年同期比(%)
空調設備工事関連事業	4,942	127.0
樹脂・エレクトロニクス関連事業	2,776	95.8
情報システム関連事業	2,512	123.8
エネルギー関連事業	1,716	100.0
化学品関連事業	10,215	114.3
住宅設備機器関連事業	3,333	111.8
その他	813	132.8
合計	26,312	114.1

(注) 販売実績の金額には、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。